

緊急事態宣言の発令 社会を支えるすべて人に労いと感謝を

猛威を振るう新型コロナウイルスに対し、政府はついに全国を対象に緊急事態宣言を発令しました。これを受け、鳥取県でも平井知事が県民に対して「不要不急の外出の自粛」と、「都道府県をまたぐ移動の自粛」を要請しました。

負の連鎖

医療従事者の子どもが学校でいじめられるなど、医療従事者本人やその家族に対して、また、感染者の多い地域のナンバーの宅配運転手などに対する心ない言動が連日報道されています。

得体の知れないウィルスの脅威が不安を増幅させ、差別や偏見につながっていると指摘されていますが、国難とも言えるこの時期の差別や偏見は、社会を混乱させ、さらに感染のリスクを高めるのは明白です。

病気(ウィルス)が不安を呼び、不安が差別を生み、差別を恐れ適切な治療を受けることができなくなるなど、差別が病気の拡散につながってしまったら、負の連鎖はいつまでも終息しません。

労いと感謝を

医療従事者をはじめ、私たちすべてが、それぞれの場所で、立場で社会を支え、感染を拡大させないよう努めています。

まさに今、全ての人に対して、労いと感謝の気持ちを持つことが、負の連鎖を断ち切るにつながります。

緊急事態宣言の発令など、未だかつて経験したことのない今日の状況に立ち向かえるのは、私たちの冷静な対応と連帯の力です。